
牛乳

香坂裕之

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

牛乳

【Nコード】

N3276U

【作者名】

香坂裕之

【あらすじ】

牛乳にかける思いとは。

前編（前書き）

BL要素を含みます。

ブログにも掲載しています。

登場人物

<春原裕紀 高2 ♂>

<小鳥遊秋人 高1 ♂>

<姉貴 大2 ♀ 蒼が彼氏>

お題は牛乳です。

前編

「……」

机の上に行儀よく整列した牛乳が俺を見ている。
その数27本。

「よし！部屋運ぶの手伝え！」

姉貴が俺の隣で喚く。

大声出さんでも聴こえるつつーの。

「……何を？」

「こいつら！」

「……何本？」

「全部！」

「……お前熱でもあんじゃね？」

ばしつと頭を叩かれる、いつてーな！

「すぐ叩く……」

「愛だ、愛」

「てかどーすんだよこれ、一人で飲む気？」

あつたりまえじゃーん！つて言いながら、器用に牛乳を抱えてく。
頭にも乗せた。お前ホントに女か。

「だいたいなんで今更牛乳なん？ これ以上背え伸ばしてどうすん

の？」

「背はもついいよ、蒼とおんなじぐらいになったし」

「じゃなんで？」

「ばーごと頭を叩かれる、牛乳パックで。破れたらどーする気だ……。」

「バカだなあ……乳でつかくするために決まってるじゃん！」
「は！？」

え、あの話ってホントなの？

「あたしのはいいからあんたは背伸ばしなさいよ。
いつまであたしに見下ろされてるつもり？」

173センチの女が、163センチの男を見下ろす図。

「うつさい、俺は大学入ったら伸びる予定なの！」

「バカ言ってるんであんたもほら、一本あげるから、がんばんなさい。」

蒼みたいにスツとしたらカッコよくなるよ！
「もーいいから！」

結局運ばされる俺。

無理やり渡された牛乳は、とりあえず冷蔵庫にいれといた。

……そういえばあいつも背え高かったっけ。
姉貴とおんなじぐらいかな。

……なんだろ、なんか腹立ってきた。

よく考えたら、俺いっつもあいつに見下ろされてるよな。

……よし。

後編

「……………」

神様、わたくしの大好きな先輩が……ここ最近ずっと牛乳を飲んでいるのです……。
わたくしは、いったいどういう突っ込みをすればよいのでしょうか……。

朝駅で会ったときはおいしい牛乳、
お昼ご飯の時は森永の、
部活の最中はルナの飲むヨーグルト……。

あれ？ ヨーグルトって牛乳だっけ？
ま、どーでもいっか。

先輩はコンビニでピルクル買ってる。
牛乳、というより乳酸菌がほしいのかな。

「…………先輩？」
「ん？」

どうして牛乳を？って訊いてみたら、先輩はストロー挿し込みながら、

「努力すればむくわれるってな」って、意味わかりません。
なんの努力なんだろう……。

「それ、いつから始めたんです？」

「んー？ んー、そろそろ一週間かなあ」

「えー……いったい何の努力なんですかあ？」

「ふふふ、いずれ驚かせてやる」

「えー……」

ストローくわえたまま、ニヤッと笑う先輩。

牛乳……牛乳かあ……。

しかもつい最近って……思いつき？

驚かせてやる、かあ……んー……。

……！！ そっか、そゆこと……！！

「先輩！」

「んー？」

「わかりました！」

「あー、バレバレ？ やっぱこのままじゃあなあ」

「俺のために……努力してくださいさってるんですね！」

「え？ あー、まあきっかけはお前だけど」

「でも、先輩はそのままでもいいと思います！」

「え？」

「そのままで十分いいですよ！」

「え、や……そう、か？ いや、でもなあ」

「だって俺、貧乳いけますから！」

「……は？」

……あれ？

「なんて？」

「いや……驚かすって言うから……かな？ って」

「……」

あわわ、先輩っ、ピルクル、紙破れるっ！

でもそんな心配はいらなかったみたいで、

「違うわボケっ！！」

飲みかけのピルクル振りがぶって俺に。

ぐしゃって音と一緒に飛び散ったピルクル、のわーっ！

「どいつもこいつも乳しか興味ねえのかーっ！！」

そのまま早歩きで駅に行っちゃっ先輩。

「えー！？　ちょ、待ってください先輩っ！」

制服べったべたなまんま、俺もダッシュ。

もー、わっけわかんないよ！

後編（後書き）

ご感想やアドバイス等いただけると嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3276u/>

牛乳

2011年10月9日08時50分発行